

## 事業主体

■株式会社eVooster

POC・FS支援事業

## 事業名

■電気自動車普及加速のためのコンシェルジュサービスのPOC

### 事業の概要

電気自動車(EV)普及を加速させるソフトウェア支援ツールとして、乗用車・業務車両・トラック・バス等に広く展開可能で、個々の運転スタイルや充電様式に応じたデータドリブンな診断が可能となる、GPS位置情報からEV走行・充電の転換診断(仮想シミュレーション)を提供するサービスを設計する。

本PoCで設計するEV転換診断と今後開発を進めるEVルーティングをあわせてEVコンシェルジュサービスとして、EVに興味があるユーザーとEV推進を志向する関係事業者・自治体等とを繋ぐコミュニケーションツールとしての幅広い展開をねらう。

EVコンシェルジュサービスによりEVユーザーの志向や走行・充電の特徴等のマクロ情報が集約されれば、EV製造・販売・充電インフラ設計等に有用な情報となり、EV普及をさらに加速させるデータサービスとしての展開が期待できる。



(a) スマートフォンアプリ (EV for Me)

(b) パソコン解析 (EV for Fleet)

### 補助事業で実施した内容

既存のガソリン車ユーザーのGPS移動情報に地形・道路・環境情報を加味したEVデジタルツイン計算により、EV転換時の電力消費・充電インフラ利用・コスト・環境価値を高精度推定するアルゴリズムの設計を完了した。

そして、スマートフォン・アプリケーション(サービス名: EV for Me)とパソコン解析(サービス名: EV for Fleet)それぞれとして、日本で市販されている多彩なEV車種との相性やコスト・環境効果を定量評価できるツールとして実装し、トライアルや事業者へのヒアリングを行った。正式版展開への機能改善を進めているところである。

### 事業の新規性・革新性／予想される市場規模・優位性等

本事業では、走行・充電の利用スタイルを考慮できる精度の高いEV推定計算に基づき(新規性)、乗用車/業務用/トラック/バス問わず容易に導入可能で(実用性)、EVのポテンシャルユーザーとEV販売事業者を繋ぐプラットフォームへの展開が期待できる(発展性)、EV転換診断サービスの初段を設計した。

EV車種と充電インフラの両者のマルチベンダーを想定した、決定的なEVコンシェルジュサービスは確立されていない(革新性)。EV転換の市場規模はアジア諸国や日本でも今後大きくなる想定の下、あまねくEVユーザーに支持されるツールとしての準備を進める。